

2018年10月31日

報道関係各位

関電不動産開発株式会社
三菱地所レジデンス株式会社
JR西日本不動産開発株式会社
住友林業株式会社

**明石市大久保町 JT 跡地の売却に係る
公募型プロポーザル開発事業者に選定**

関電不動産開発株式会社（本社：大阪市北区中之島、社長：勝田 達規）、三菱地所レジデンス株式会社（本社：東京都千代田区大手町、社長：脇 英美）、JR西日本不動産開発株式会社（本社：大阪市北区中之島、社長：柴田 信）、住友林業株式会社（本社：東京都千代田区大手町、社長：市川 晃）で構成するグループは、明石市が実施した「JT跡地の売却に係る公募型プロポーザル」に応募し、この度、優先交渉権者に選定され、明石市と土地売買仮契約書および基本協定書を締結しましたので、お知らせいたします。

本プロジェクトでは、明石市の「住みたい、住み続けたいまち」の指針に沿い、周辺環境と調和した明石の新たなシンボルとなるべく、開発事業に取り組んでまいります。

■対象地

所 在 明石市大久保町ゆりのき通2丁目50番1他
敷地面積 35,680.18㎡（当グループ取得用地）

■事業予定者（4社）

関電不動産開発株式会社（代表構成員）、三菱地所レジデンス株式会社
JR西日本不動産開発株式会社、住友林業株式会社

■提案内容

①コンセプト

コミュニティリボンを開発のテーマとし、「人とまちを結ぶ」、「人と人を結ぶ」、「あらゆる世代を結ぶ」、そして「未来へつなぐ」を開発のコンセプトとしています。

②住宅計画

1) マンション（3棟）：771戸 戸建住宅：17戸

2) 住宅は全戸オール電化を採用。また、関西電力が推進する「スマートコミュニティ」構想にもとづいた創エネ・蓄エネ・省エネ技術の導入など、サステイナブル（持続可能）、スマート、ユニバーサルを標準とした国内トップレベルのバリアフリー性、防災・減災力を備えた住環境を提供します。

3) マンション共用棟「コミュニティHUB」を核とし、居住者と地域住民とのさまざまな交流や教養、文化の育みを図ることで、誇りある市民としての意識醸成とともに、多世代交流を促進します。

■今後の想定事業スケジュール（予定）

土地引渡し	: 2019年1月
開発工事着工	: 2019年8月以降
集合住宅工事着工	: 2020年1月以降順次
戸建住宅工事着工	: 2020年4月以降順次

以上



イメージパース1 西方向から見た鳥瞰図



イメージパース2 マンション共用棟「コミュニティHUB」